

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年2月13日

## 【評価実施概要】

事業所番号	4271600647
法人名	有限会社 グループホーム ゆうゆうてらわき
事業所名	グループホーム ゆうゆうてらわき
所在地	〒853-0313 長崎県五島市岐宿町松山513-1 (電話) 0959-75-7513

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構		
所在地	〒855-0801 長崎県島原市高島二丁目7217島原商工会議所1階		
訪問調査日	平成20年2月5日	評価確定日	平成20年2月27日

【情報提供票より】(H19年12月24日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 16年 2月 1日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数計 9人
職員数	8人 常勤 5人, 非常勤 3人, 常勤換算 6.6人

### (2) 建物概要

建物構造	木造平屋造り		
	1階建ての	1階 ~	1階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	12,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有( 円)	(無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円)	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	900 円		

### (4) 利用者の概要( 12月 24日現在)

利用者人数	9名	男性	5名	女性	4名
要介護1	1名	要介護2	3名		
要介護3	2名	要介護4	3名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 87歳	最低	72歳	最高	103歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人 山内診療所
---------	------------


## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

緑が豊富で閑静な住宅地の中にある当ホームは、地域の方々からの理解を得ており、地域の中で当たり前暮らしながら共に生活されている。入り口にはインフルエンザ予防の取り組みがなされていたり、緊急時において、どう連絡すればよいかが一目瞭然で分かるように、図式化されている。また、スプリンクラー等の装置も用意され、安全なる暮らしをハード面からも心掛けている。全職員は個々の入居者に応じて対応され、時には冗談を交えながら、楽しく過ごせるよう声掛けなど工夫されている。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の改善点に対して、改善計画シートを作成し、主な取り組みは、浴室の手すりを増やされたり、危険物などの取り扱いや管理する場所を決められたりするなど、出来るところから対応している。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は全職員に配られ、時間を掛けて取り組まれている。自己評価内容が勉強になると前向きに受け取っている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	2ヶ月に1度、運営推進会議を開かれている。参加者も多く、地域の方も積極的に参加されている。会議録は内容が非常に具体的で分かり易く、振り返る時には見易いようになっている。主な討議内容は消防訓練等を質疑応答形式で記録されている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	意見箱の設置や運営推進会議を通して、ご家族に声掛けをされ、意見を頂いた際には、出来る範囲で対応されている。報告などは定期的なたよりを発行され、遠方の家族に入居者の暮らしぶりを伝えられている。また、出納帳も用意され、ご家族に確認を頂いており、状態変化時には必ず、電話にて報告・相談されている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	地域の方と交流を図るため、毎年行われる消防訓練に地域の方々の参加を募られて、協力されながら訓練されている。他には当ホームの行事の際、周りの方に声を掛けています。又、保育園の児童と敬老会やクリスマス会などで、定期的にふれ合う機会を設けており、地域と継続した繋がりが途切れないように努めている。

## 2. 評価結果 ( 詳細 )

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域に対して理念も、既に法人の理念の中で謳われており、その理念をベースに「家庭的な雰囲気の中で、その人らしく笑顔あふれる ゆうゆうてらわき」という当ホームの理念を掲げられている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念をリビングに掲示し、毎朝申し送りの際に唱和する等、日々の取り組みにおける意識付けをされている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の方と交流を図るため、当ホームの行事の際には周りの方に声を掛けている。また、保育園の児童と敬老会やクリスマス会などで定期的にふれ合う機会を設けており、地域との継続した繋がりが途切れないように努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価に対しては、改善計画シートを用意され、出来ることから対応されている。自己評価は全職員に配られ、時間を掛けて取り組まれている。また、自己評価内容が勉強になると前向きに受け取っている。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度、運営推進会議を開かれている。参加者も多く、地域の方も積極的に参加されている。会議録は内容が具体的で分かり易く、振り返る時には見易いようになっている。		

グループホーム ゆうゆうてらわき

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議を中心に、分からない事があれば、介護福祉課に尋ねるなど、情報がスムーズに受け取れるよう取り組まれている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	定期的なたよりを発行され、遠方の家族に入居者の暮らしぶりを伝えている。また、出納帳も用意され、ご家族に確認を頂いており、状態変化時には、必ず電話にて報告されている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱の設置や運営推進会議を通して、ご家族に声掛けをされ、意見を頂いた際には、出来る範囲で対応されている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	新人職員の採用の折には、入居者へのダメージを考え、初めの内はベテラン職員に付いて働いてもらうなど、チームケアをされる事で、入居者に配慮されている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月10日に全職員参加の施設内研修会が行われ、研修発表者は職員が順番で担当されている。また外部研修会は参加可能であれば、積極的に参加するなど、職員の育成に努めている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会等で管理者やケアマネジャーは交流を深められ、当ホームの発展に努められている。また職員同士は今後、他のグループホームと交流の予定がなされている等、サービスの質の向上に積極的に取り組まれている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>ご家族に当ホームを見学して頂いたり、取締役・ケアマネージャー・事務担当者の3名で本人へ会いに行き、馴染みの関係作りをされている。また入居の際には、ご家族と掛かり付け医と相談される等の配慮がなされている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>詩を創られる入居者がおり、詩の朗読などを通して喜びを共にしながら、関係性を深められている。</p>		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>アセスメントを作成され、入居者の趣味や趣向品の把握に努めている。また、日々の触れ合いの中でドライブや買い物などの希望がある場合、出来るだけ希望に添えるようにされている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>入居者やご家族の意向を話し合わせ、その上で職員の介護技術に応じて計画されている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>毎月20日に全職員でモニタリングを話し合わせ、その事を通して、基本的には3ヶ月に1度の計画の見直しが行われている。また状態変化の際には随時計画を見直されている。</p>		<p>更に今後は、介護記録をケアプランの定期的な見直しに繋げやすい記録の方法で、記録に費やす時間の短縮ができるように検討をされることに期待したい。</p>

グループホーム ゆうゆうてらわき

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	掛かり付けの病院への通院介助や、ご家族の宿泊が可能である事など、柔軟な支援を心掛けている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	毎月、入居者やご家族の希望する医療機関へ受診が出来るよう、送迎介助がなされている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	当ホーム独自のリビングウィルを導入され、入居者の終末期に際しての希望を、契約の段階から意思確認をされ、意向に添うように努められている。また訪問介護を利用され、過去に看取りの経験をされている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	人生の先輩という尊敬の念を持ちながら、一人ひとりに合った声掛けをされ、楽しそうに会話をされている。また基本的に書類は、事務所に保管されている。畳の間に日誌等を置かれているが、人目に付かないよう工夫される意向である。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床や就寝等は、一人ひとりの状態を診て、対応されている。入浴の順番なども希望に添うように努められている。また自由に散歩や野花採取等、地域の中で見守られながら、その人らしく暮らされている。		

グループホーム ゆうゆうてらわき

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は職員も入居者と同じ物を一緒に摂っており、食事内容も個々の状態に合わせて、キザミ食等の工夫がされている。また食器洗い等もタイミングを見て、声掛けをしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	ほぼ、毎日入浴できるように準備されている。また脱衣所は暖房器具を用意され、冬の寒さに対応されている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	タオル等は、自主的に入居者の方が畳まれたり、散歩で栗を拾われたりしながら、日々楽しく過ごされるよう支援されている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	花見やお墓参り、ドライブや買い物など、ホームに閉じこもらないように支援されている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	さり気ない声掛けや見守りで、日中は鍵を掛けずに過ごされている。また地域の方も声を掛けて下さるなど、地域の見守りも大きな力になっている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災などの避難訓練は地域の方と協力してもらえるように声掛けをされている。研修記録も映像付きで記録されている。また緊急の際の連絡網も事務所に用意され、入居者の安心に繋がられている。		更に今後は、地震等の災害も視野に入れた訓練が望まれる。又、避難後のライフラインの確保も検討される事に期待したい。

グループホーム ゆうゆうてらわき

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量の記録や入居者のアレルギーの把握がなされている。また水分も食事の時や外出からの帰宅後に取るように注意されている。		利用者と家族の安心に繋がられる為にも、更に、市町村の保健師や管理栄養士に献立の定期的なチェックを受けられる事に期待したい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関口にベンチがあり、ゆっくり日向ぼっこが出来たり、畳の間にはコタツが用意されている等、居心地の良い工夫がされている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	筆筒や布団など、入居者が使い慣れた物を持ち込まれており、本人の過ごしやすいように工夫されている。		